

第5回 U-18 フットサルリーグ チャンピオンズカップ

〈報告書〉

開催 2021年1月9日（土）、10日（日）
会場 ことぶきアリーナ千曲（長野県）
主催 特定非営利活動法人サロン2002
主管 長野県フットサル連盟
後援 長野県、長野県教育委員会、千曲市、一般社団法人信州千曲観光局、
一般社団法人長野県サッカー協会、戸倉上山田温泉旅館組合連合会



“With コロナ” の新たな様式ー第5回大会を終えて

たいへん難しい判断でした。緊急事態宣言が発令され、1都3県のみならず地元長野も感染拡大が続く中で、大会を行うべきか否か。最後まで悩みました。

すべての人の健康と安全が大前提です。そのため「無理をすべきではない」ことははっきりしています。一方で、「できる可能性が少しでもあるならチャレンジすべき」の思いもあります。スポーツは不要不急ではありません。人生をゆたかにする大切な活動です。「大会に携わるすべての人が、“With コロナ”の新たな様式を理解し実践すること」が開催の条件であることを、指導者間では共有しましたが、全選手・関係者があらゆる場面で徹底できるかは不確かでした。「新たな様式」には、円陣、大声、抱擁といった行為を慎むことも含まれます。握手もなしです。それらがなくても気持ちを高めることができるのか、勝利の喜びを表現できるのか、相手とハートをつなぐことができるのか…。

多くの方から「開いてくれてありがとう」と言ってもらえましたが、決勝戦が終わったあとも、まだ確信は持てませんでした。ほんとうに「新たな様式」は徹底できたのだろうか。また「新たな様式」と我々が思っている方法は、ほんとうに適切だったのだろうか…。見えない敵との戦いは、フットサルの試合よりはるかに難しいものです。閉会式の主催者挨拶では、そんな気持ちが頭の中にあっただので、「おめでとう」「あ

りがとう」より先に、開催判断の難しさと「まだ終わっていない」ことを述べました。「少なくとも家に帰って2週間は自己観察を続けてください。そこまでが大会です」と。さらに、「この大会で感じ、考えた“With コロナ”の新たな様式は、これからもずっと続けてください」と続けました。「新たな様式」は大会期間中だけでなく、普段から心がけ、実践していくもの。心からそう思います。

大雪の影響で試合時間に間に合わないトラブルから今大会が始まりました。U-18年代の公式戦は今年度初めてです。はじめのうちはぎこちない様子でしたが徐々に慣れ、決勝戦は素晴らしい試合となりました。優勝したペスカドーラ町田、準優勝のZOTT WASEDAだけでなく、参加して下さったすべてのプレーヤー、スタッフ、審判や競技運営に携わる長野県フットサル連盟の皆さん、宿泊や移動に力を注いで下さった皆さん、動画配信を担って下さった方々を含め、日頃からU-18フットサルを応援して下さるすべての方々に感謝いたします。

まだまだコロナ禍は続きます。「With コロナ」で得た知見を「After コロナ」に生かせるときまで、しんぼうしながら続けていきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人サロン2002 理事長 中塚 義実

U-18フットサルのあゆみ

●JFA 全日本 U-18 フットサル選手権大会

開催年	優勝チーム	会場
2014年	聖和学園 FC (宮城)	大田区総合体育館、墨田区総合体育館
2015年	岡山県作陽高校 (岡山)	ゼビオアリーナ仙台、仙台市体育館
2016年	帝京長岡高等学校 (新潟)	ゼビオアリーナ仙台、仙台市体育館
2017年	矢板中央高等学校 (栃木)	ゼビオアリーナ仙台、仙台市体育館
2018年	帝京長岡高等学校 (新潟)	ゼビオアリーナ仙台、仙台市体育館
2019年	ペスカドーラ町田 U-18	浜松アリーナ
2020年	新型コロナウイルス感染の影響で中止。	

●グリーンアリーナ神戸カップフットサルフェスティバル

夏休み期間に特定非営利活動法人神戸アスリートタウンクラブを主催として開催されるフェスティバル。

開催年	優勝チーム	準優勝チーム
2012年	SAKUYO Coracao de Verde	神戸国際大学附属高校
2013年	名古屋オーシャンズ U-18	SAKUYO
2014年	岡山県作陽高校	エンフレンテ熊本
2015年	SAKUYO	名古屋オーシャンズ U-18
2016年	フウガドールすみだファルコンズ	サントス サッカーショップ
2017年	OKAYAMA SAKUYO	フウガドールすみだファルコンズ
2018年	SBFC ロンドリーナ U-18	ASV PESCADOLA 町田 U-18
2019年	北海道 U-18 男子	シュライカー大阪 U-18
2020年	立命館宇治高校 神戸国際大学附属高校	シュライカー大阪 U-18 gatt 2008

●GAViC CUP ユースフットサル選抜トーナメント

2012年に「U-18フットサルトーナメント」として創設。2015年からは名称を変更し、全国9地域から選抜された12チームで大会が開催されている。

開催年	優勝チーム	会場
2012年	名古屋オーシャンズ U-18 (愛知)	オーシャンアリーナ
2013年	瀬戸内高校 (広島)	オーシャンアリーナ
2014年	幕張総合高校 (千葉)	駒沢体育館
2015年	愛知県選抜 U-18	墨田区総合体育館
2016年	U-18 新潟県選抜	墨田区総合体育館
2017年	U-18 新潟県選抜	墨田区総合体育館

●フットサルフェスタ (旧ホンダカップ)

1997年から開催されているフェスティバル大会に2010年からU-18カテゴリーを設定。

関東・東海・関西で予選大会が開催されている。

開催年	優勝チーム	準優勝チーム
2010年	名古屋オーシャンズ U-18	さくようフットサル部
2011年	府中アスレティック FC ユース	作陽 Oito Soldados
2012年	SAKUYO Nao admitem	武相高校
2013年	クラーク記念国際高校	東京成徳大学高校フットサル同好会
2014年	クラーク記念国際高校	湘南工科大学附属高校
2015年	SEIRITZ A	SAKUYO
2016年	フウガドールすみだファルコンズ	サントス サッカー ショップ
2017年	クラーク記念国際高等学校	フウガドールすみだファルコンズ
2018年	サントス サッカー ショップ	SBFC ロンドリーナ U-18
2019年	クラッキス	レボナ滋賀 U-18
2020年	新型コロナウイルス感染の影響で中止。	

大会要項 第5回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ (2020 年 12 月 20 日改訂)

1. 名称

第5回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ

2. 主催

特定非営利活動法人サロン 2002

3. 主管

長野県フットサル連盟

4. 後援

長野県、長野県教育委員会、千曲市、一般社団法人信州千曲観光局、一般社団法人長野県サッカー協会、戸倉上山田温泉旅館組合連合会（申請中を含む）

5. 協賛

各社

6. 会場

ことぶきアリーナ千曲（長野県）

7. 日程・会場

2021 年 1 月 9 日（土）、10 日（日）

8. 参加資格

- (1) 公益財団法人日本サッカー協会（以下、「日本サッカー協会」とする。）に加盟登録した単独のチームであること（準加盟チームを含む）。
- (2) 前項のチームに所属する 2001 年 4 月 2 日以降に生まれた選手で男女の性別は問わない。但し、高等学校在学中の選手にはこの年齢制限を適用しない
- (3) 2020 年度の選出元の U-18 フットサルリーグまたはその代替となる大会に登録・出場している選手であること。

9. 参加チーム

参加チームは、次の各号により選出された 16 チームとする。

- (1) 地域または都道府県のフットサル連盟が主催、主管または後援して開催される 2020 年度の U-18 フットサルリーグの優勝チーム。ただし本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、優勝チーム以外のチームを、単独チーム、選抜チームを問わず、リーグにて選出することを認める。
- (2) 出場チームが 16 チームに満たない場合は、当該年度のリーグ参加チーム数の多いリーグから順にチームを選出し、16 チームでの開催とする。
(注) ただし、やむを得ない理由により 16 チーム未満での開催となることがある。

10. 大会形式

16 チームによるノックアウト方式で行う。1 回戦・準々決勝敗者による交流戦を行う。

11. 競技規則

大会実施年度の「フットサル競技規則」による。今大会は 2019/2020 競技規則を用いる。

12. 競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

- (1) ピッチ 35 ～ 40 m × 16 ～ 20 m
- (2) ボール 試合球：フットサル 4 号ボール
- (3) 競技者の数 ベンチに着席できる人数は、試合開始前に提出のメンバー提出用紙に記載されている選手 14 名、役員 4 名を上限とする。
- (4) 競技者の用具
 - ① ユニフォーム
 - (ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ソックス）を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携帯すること。
 - (イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - (ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自身自身の背番号のついたものを着用すること。
 - (エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - (オ) 選手番号については 1 から 99 までの整数とし、0 は認めな

い。1 番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

- (カ) ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- (キ) その他のユニフォームに関する事項については、日本サッカー協会のユニフォーム規程に則る。
- ② 靴：キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。（スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。）
- ③ ビブス：交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (5) 試合時間
30 分間（前後半各 15 分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは 5 分間（前半終了から後半開始まで）とする。
- (6) 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）
 - ① 交流戦は引き分けとする。
 - ② PK 方式により勝敗を決定する。PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。
 - ③ 決勝：10 分間（前後半各 5 分間）の延長戦を行い、決しない場合は PK 方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは 5 分間とし、PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

13. 懲罰

- (1) 本大会において退場を命じられた選手は、次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については当大会規律・フェアプレー委員会が決定する。
- (2) 本大会期間中、警告を 2 回受けた者は、次の 1 試合に出場できない。
- (3) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

14. 参加申込

- (1) 1 チームあたり 26 名（役員 6 名、選手 20 名）を上限とし、選手は選出元のリーグに登録していること。
- (2) 申込み締切日以降の参加申込内容の変更は認めない。

15. 電子選手証

各チームの登録選手は、日本サッカー協会発行の電子選手証の写し（写真が登録されたもの：フットサル登録選手）、または選手証（写真が貼付されたもの：サッカー登録選手）を、代表者会議および試合会場に持参すること。電子選手証または選手証が確認できない場合は、試合に出場できない。

16. 組み合わせ

主催者において決定する。

17. 参加料

1 チームあたり 40,000 円

18. 表彰

優勝、準優勝のチームを表彰する。

19. 経費

旅費交通費は各チーム負担とする。

20. 傷害補償

チームの責任において傷害保険に加入すること。

21. 負傷対応

競技中の疾病、傷病等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

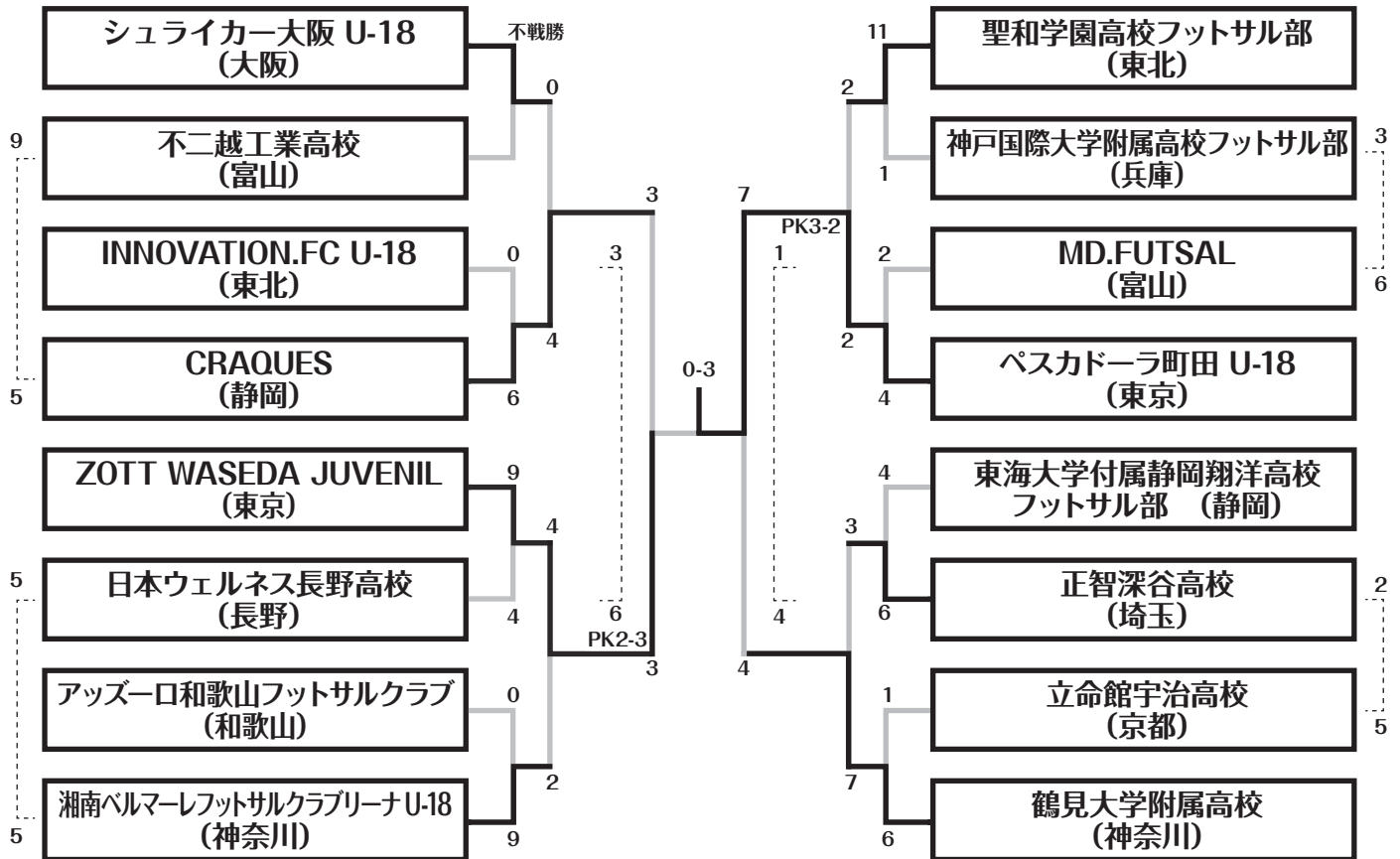
22. その他

- (1) 代表者会議は 1 月 4 日 19:00 よりオンラインにて行う。
- (2) 試合開始の 60 分前、マッチナンバー 13、14 は 40 分前にマッチコーディネーションミーティングを行い、ユニフォームを決定する。
- (3) 参加チームと選手は日本サッカー協会の基本規程および付属する諸規程を順守しなければならない。
- (4) 大会規定に違反し、その他不正行為等があった場合は、そのチームの出場を停止する。
- (5) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合、その帰責事由のあるチームは 0 対 5 または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (6) 本実施要項に記載のない事項については、主催者にて決定する。

大会結果

第5回 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ

2021年1月9日(土)、10日(日) 長野/ことぶきアリーナ千曲



得点ランキング

順位	選手名	所属	得点
1	渡部 朝登	鶴見大学附属高校	6
2	亀田 航正	正智深谷高校	4
2	成田 美光	ペスカドーラ町田 U-18	4
4	山田 葵琉	CRAQUES U-18	3
4	織田 遥希	CRAQUES U-18	3
4	若林 勇太	聖和学園高校フットサル部	3
4	高橋 大樹	湘南ベルマーレ FC ロンドリーナ U-18	3
4	嶋原 直希	ZOTT WASEDA JUVENIL	3
4	草野 大空	聖和学園高校フットサル部	3
4	松野 洸佑	ペスカドーラ町田 U-18	3
4	本田 遥大	湘南ベルマーレ FC ロンドリーナ U-18	3
4	二瓶 京介	ZOTT WASEDA JUVENIL	3
4	大澤 寛治	ZOTT WASEDA JUVENIL	3



ペスカドーラ町田 U-18 (東京)

賀川浩賞 (得点王)



渡部 朝登 選手

賀川浩

1924年神戸出身 神戸一中などでプレーした後、サンケイスポーツ編集局長などを経て、現役最年長のスポーツライター、サロン2002正会員。2010年に日本サッカー殿堂入り、2015年には FIFA 会長賞を受賞した。

チーム紹介

大阪府リーグ

シュライカー大阪 U-18

[illegible]

役職	スタッフ名
監督	林 浩平
トレーナー	藤田 雄亮
マネージャー	土井 陽介

和歌山県リーグ

アッズーロ和歌山
フットサルクラブ U-18

[illegible]

役職	スタッフ名
監督	中尾 隼士
マネージャー	柳澤 仁湖
マネージャー	森本 愛唯

宮城県リーグ

聖和学園高校フットサル部

[illegible]

役職	スタッフ名
監督	菊池 宏志
トレーナー	齋藤 亮
庶務	田代 海
庶務	今澤 慎
庶務	笠井 雅斗
庶務	野村 大貴

神奈川県リーグ

鶴見大学附属高校

[illegible]

役職	スタッフ名
監督	森谷 航
コーチ	飯田 千馬
トレーナー	金谷 良太
顧問	鈴木 健司
マネージャー	阿部 一葉

チーム紹介

富山県リーグ

不二越工業高校

[illegible]

役職	スタッフ名
監督	上島 賢秀
部長	太田 賢次
コーチ	和田 高汰

東京都リーグ

ペスカドーラ町田 U-18

[illegible]

役職	スタッフ名
監督	甲斐 修侍
コーチ	森 秀春
コーチ	後呂 康人
コーチ	瀬戸 真司
コーチ	山野 達也

東京都リーグ

ZOTT WASEDA
JUVENIL

[illegible]

役職	スタッフ名
監督	清野 潤
コーチ	持木 瑛宏
コーチ	山田 秀哉
コーチ	木村 駿一

静岡県リーグ

東海大学付属静岡翔洋高校
フットサル部

[illegible]

役職	スタッフ名
監督	久保田 勇輝
部長	小曽根 龍介
コーチ	眞境名 オスカー
マネージャー	柴田 魅華

神奈川県リーグ

[illegible]

役職	スタッフ名
監督	二見 一輝
コーチ	伊久間 洋輔
マネージャー	長木 シンジ
マネージャー	杉浦 悠司
マネージャー	大畑 遥也

京都府リーグ

[illegible]

役職	スタッフ名
監督	加藤 亜土
顧問	青野 陽介
顧問	小曽根 潮
教頭	八木 誠
マネージャー	池杉 莉奈
マネージャー	吉野 凜

静岡県リーグ

[illegible]

役職	スタッフ名
監督	吉田 純平
コーチ	山本 公輔
コーチ	野島 勇
コーチ	福井 大介
トレーナー	小山 大貴

富山県リーグ

[illegible]

役職	スタッフ名
監督	岡崎 勇哉
スタッフ	森永 敏行
スタッフ	留木 大輔
スタッフ	若山 隆行
スタッフ	倉田 勝也
スタッフ	畑 佑弥

チーム紹介

長野県リーグ

日本ウェルネス長野高校

[illegible][illegible]

兵庫県リーグ

神戸国際大学附属高校
フットサル部

[illegible]

役職	スタッフ名
監督	埜田 直文
マネージャー	加藤 りほ
マネージャー	渡邊 紅葉
マネージャー	住田 龍凱

埼玉県リーグ

正智深谷高校

[illegible]

役職	スタッフ名
監督	小島 時和
コーチ	若松 徹朗
コーチ	大沢 正人
マネージャー	羽鳥 終人

東北リーグ

INNOVATION. FC U-18

[illegible]

役職	スタッフ名
監督	服部 薫
コーチ	佐藤 裕樹
コーチ	奥山 浩司

第1回大会の結果

エコパアリーナ（メインアリーナ） 2018年1月6日(土)～7日(日)

1次ラウンド

Aグループ		A1	A2	A3	A4
A1	FOOTBOZE FUTSAL U-18 (東京都)		8 ○ 0	10 ○ 0	3 ○ 2
A2	龍谷富山高校 (富山県)	0 ● 8		8 ○ 3	6 ○ 4
A3	宝塚フットサルクラブ (兵庫県)	0 ● 10	3 ● 8		4 △ 4
A4	エンフレンテ熊本 (熊本県)	2 ● 3	4 ● 6	4 △ 4	

Bグループ		B1	B2	B3	B4
B1	PSTCロンドリーナ U-18 (神奈川県)		4 ○ 2	3 ○ 2	0 △ 0
B2	日本ウェルネス高校 (長野県)	2 ● 4		1 ● 9	3 ● 8
B3	HeroFC U18F (静岡県)	2 ● 3	9 ○ 1		3 ○ 1
B4	アリアンサフットサルクラブ (大阪府)	0 △ 0	8 ○ 3	1 ● 3	

得点ランキング

順位	選手名	所属	得点
1	内田 大登	エンフレンテ熊本U18	10
2	堀 光輝	宝塚フットサルクラブU18	6
2	松田 隼	FOOTBOZE FUTSAL U-18	6
4	山西 静樹	龍谷富山高校	5
5	松左川 晴也	アリアンサ フットサルクラブ	4
5	千野 慧太	FOOTBOZE FUTSAL U-18	4
5	南雲 颯太	FOOTBOZE FUTSAL U-18	4
5	原田 守久	PSTCロンドリーナU-18	4
5	原科 勇我	HeroFC U18F	4
5	村上 拓也	FOOTBOZE FUTSAL U-18	4
5	木村 芳之	HeroFC U18F	4

2次ラウンド 2017年1月7日(土) エコパアリーナ（サブアリーナ）

Aグループ 1位 FOOTBOZE FUTSAL U-18	4	準 決 勝	5	決 勝	2
Bグループ 2位 HeroFC U18F	5		0		0
Bグループ 1位 PSTCロンドリーナ U-18	8	準 決 勝	0		
Aグループ 2位 龍谷富山高校	0				



HeroFC U18F

第2回大会の結果

武田テバオーシャンアリーナ 2018年1月6日(土)～7日(日)

1次ラウンド

Aグループ		A1	A2	A3	A4
A1	名古屋オーシャンズ U-18 (愛知県第2)		5 ○ 1	4 ○ 1	5 ○ 2
A2	アズヴェール藤沢U-18 (神奈川県)	1 ● 5		3 ● 6	4 △ 4
A3	京都橘高校 (京都府)	1 ● 4	6 ○ 3		4 ○ 3
A4	不二越工業高等学校 (富山県)	2 ● 5	4 △ 4	3 ● 4	

Bグループ		B1	B2	B3	B4
B1	SANTOS FC18 (愛知県第1)		2 △ 2	12 ○ 2	9 ○ 0
B2	フウガドルすみだファルコンズ (東京都第1)	2 △ 2		7 ○ 1	12 ○ 0
B3	神戸国際大学附属高校フットサル部 (兵庫県)	2 ● 12	1 ● 7		5 ○ 3
B4	筑北SC WELLNESS (長野県)	0 ● 9	0 ● 12	3 ● 5	

Cグループ		C1	C2	C3	C4
C1	HeroFC U18F (静岡県)		2 ○ 1	2 ○ 0	5 ○ 2
C2	FOOTBOZE FUTSAL U-18 (東京都第2)	1 ● 2		5 ○ 1	4 ○ 1
C3	アリアンサ フットサルクラブ (大阪府)	0 ● 2	1 ● 5		3 △ 3
C4	エンフレンテ熊本フットサルU-18 (熊本県)	2 ● 5	1 ● 4	3 △ 3	

2次ラウンド



SANTOS FC18

準 決 勝		4	2	決 勝		0	6
Bグループ 1位 FC18 SANTOS	7	2		Aグループ 1位 U-18 名古屋オーシャンズ			
Cグループ 1位 U18F HeroFC				Bグループ 2位 フウガドルすみだファルコンズ			

得点ランキング

順位	選手名	所属	得点
1	ベレイラチアゴ ヒデキ ミヤザキ	SANTOS	11
2	山口 勝輝	SANTOS	10
3	佐々木 拓海	フウガ	7

順位	選手名	所属	得点
4	イチヤナギラファ エル ジェファソン	SANTOS	6
4	新田 朋紀	不二越工業	6
4	畠山 勇気	フウガ	6
7	下田 康聖	名古屋オーシャンズ	5

順位	選手名	所属	得点
8	横田 海斗	Hero	4
8	荒木 康作	SANTOS	4
8	山口 敬史	京都橘	4
8	川本 樹弥	名古屋オーシャンズ	4

第3回大会の結果

2019年1月5日(土)、1月6日(日) 長野/ことぶきアリーナ千曲

1次ラウンド

	Aグループ	日本ウェルネス筑北 SC	宝塚フットサルクラブ U-18	ASV PESCADOLA 町田 U-18	サントス FC/santista
A1	日本ウェルネス筑北 SC (長野県)		△ 3-3	● 2-4	● 1-10
A2	宝塚フットサルクラブ U-18 (兵庫県)	△ 3-3		● 0-9	● 0-7
A3	ASV PESCADOLA 町田 U-18 (東京都)	○ 4-2	○ 9-0		○ 4-1
A4	サントス FC/santista (愛知県)	○ 10-1	○ 7-0	● 1-4	

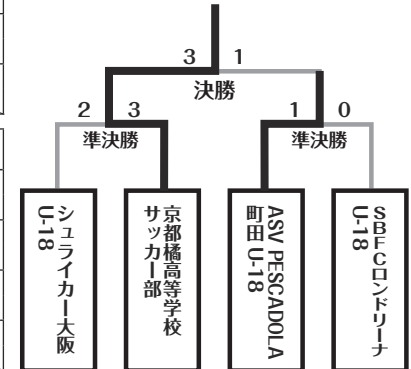
	Bグループ	明科高等学校サッカー部	シュライカー大阪 U-18	SBFC ロンドリーナ U-18	エンフレンテ熊本 U-18
B1	明科高等学校サッカー部 (開催地:長野県)		● 2-10	● 2-22	● 1-5
B2	シュライカー大阪 U-18 (大阪府)	○ 10-2		● 1-2	○ 6-0
B3	SBFC ロンドリーナ U-18 (神奈川県)	○ 22-2	○ 2-1		● 1-2
B4	エンフレンテ熊本 U-18 (熊本県)	○ 5-1	● 0-6	○ 2-1	

	Cグループ	不二越工業高等学校	京都橘高等学校サッカー部	ディヴェルティード 旭川エルマーノス	CRAQUES
C1	不二越工業高等学校 (富山県)		● 5-8	● 2-5	△ 2-2
C2	京都橘高等学校サッカー部 (京都府)	○ 8-5		○ 5-1	○ 5-3
C3	ディヴェルティード 旭川エルマーノス (北海道)	○ 5-2	● 1-5		● 1-4
C4	CRAQUES (静岡県)	△ 2-2	● 3-5	○ 4-1	

2次ラウンド



京都橘高等学校サッカー部

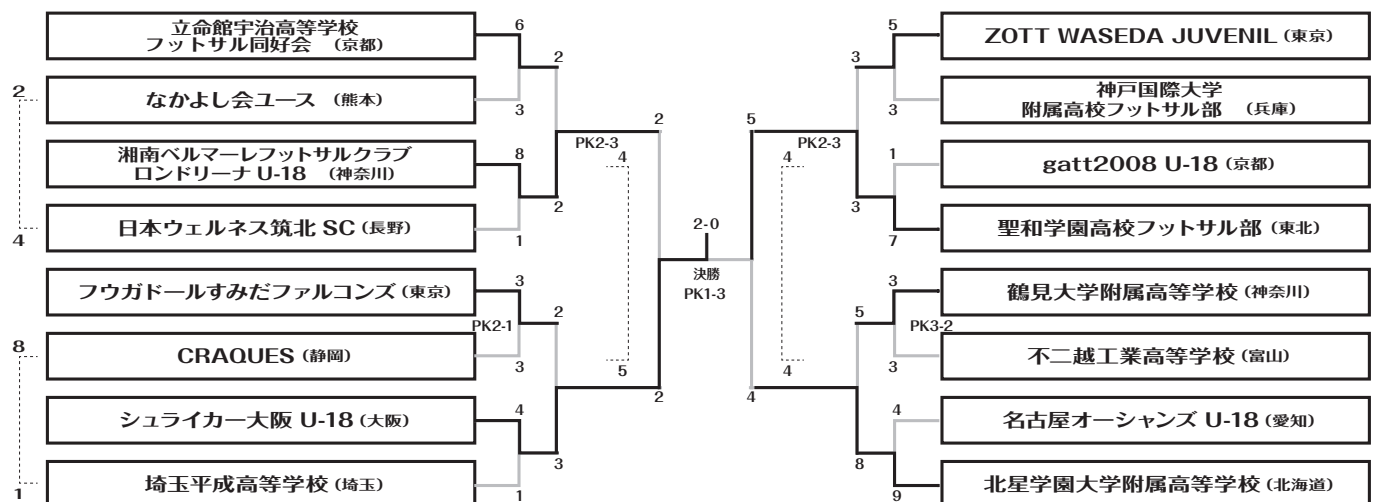


得点ランキング

順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点
1	荻内 涼馬	SBFC ロンドリーナ U-18	12	8	川戸 渉平	京都橘高等学校サッカー部	4	13	温 立丞	SBFC ロンドリーナ U-18	3
2	山口 勝輝	サントス F C /santista	7	8	原田 蓮人	SBFC ロンドリーナ U-18	4	13	渡辺 旺介	SBFC ロンドリーナ U-18	3
2	金沢 一矢	京都橘高等学校サッカー部	7	8	千葉 一心	CRAQUES	4	13	甲林 陸	シュライカー大阪 U-18	3
4	井口 凛太郎	シュライカー大阪 U-18	6	8	板橋 琉聖	ASV PESCADOLA 町田 U-18	4	13	岩淵 叶夢	シュライカー大阪 U-18	3
5	垣谷 将太郎	京都橘高等学校サッカー部	5	8	甲斐 稜人	ASV PESCADOLA 町田 U-18	4	13	藤本 毅	エンフレンテ熊本	3
5	林 倅二郎	京都橘高等学校サッカー部	5	13	バレイラチアゴ ヒデキミヤザキ	サントス F C /santista	3	13	石川 駿	明科高等学校サッカー部	3
5	稲本 結斗	サントス F C /santista	5								

第4回大会の結果

2020年1月4日(土)、1月5日(日) 長野/ことぶきアリーナ千曲



順位	選手名	所属	得点	順位	選手名	所属	得点
1	畦地 智志	gatt 2008 U18	6	4	神田 亜典	ZOTT WASEDA JUVENIL	4
2	桐山 侑大	立命館宇治高等学校フットサル同好会	5	4	宮下 豪也	日本ウェルネス筑北 SC	4
2	田代 海	聖和学園高等学校フットサル部	5	13	伊藤 巧真	北星学園大学附属高等学校	3
4	熊谷 音乙	北星学園大学附属高等学校	4	13	松友 亮輝	神戸国際大学附属高校	3
4	嘉数 希望	シュライカー大阪 U-18	4	13	千葉 黎	CRAQUES U-18	3
4	武内 遼生	北星学園大学附属高等学校	4	13	松井 茂樹	立命館宇治高等学校フットサル同好会	3
4	高木 隼斗	フウガドールすみだファルコンズ	4	13	井上 統世	聖和学園高等学校フットサル部	3
4	大澤 寛治	ZOTT WASEDA JUVENIL	4	13	大石 颯馬	CRAQUES U-18	3
4	杉村 和哉	鶴見大学附属高等学校	4	13	高橋竜ノ介	鶴見大学附属高等学校	3
4	荻内 涼也	湘南ベルマーレFC ロンドリーナ U-18	4				



シュライカー大阪 U-18

リーグ紹介

北海道

● 本年度のリーグの状況

今年度は、コロナ禍により8月末まで北海道内のサッカー・フットサルの活動が停止し、9月1日より日常を取り戻したかのように再活動しました。U-18 フットサルリーグも9月末に開催要項を掲げ、JFA ガイドラインを基にフットサル活動マニュアルを作成、感染症対策を講じて11月に3日日程で行う計画を立てておりました。しかし、10月下旬より新規感染者数が増え始め

たこともあり参加は Safilva と北星学園大学付属高等学校の2チームに留まり、H & A 方式での試合形式に変更せざるを得ませんでした。11月に入り感染者数の増加に歯止めがかからず、警戒ステージも上がり（公財）北海道サッカー協会、（一社）北海道フットサル連盟は、段階的に12月末までの主催事業の中止を決断し、本リーグの開催も中止としました。

宮城県

● 本年度のリーグの状況

今年度、初の試みとして宮城県においてU-18のフットサルリーグを開催しました。コロナ禍の中で、日程や感染対策が難しい現状ではありましたが、何とかリーグ運営を行うことができました。

● 本年度のチームの状況

・聖和学園高校フットサル部

コロナ禍の中で練習に取り組むことが困難な状況も多々ありましたが、生徒たちのフットサルに対する熱い気持ちとコロナウィルスの感染予防を踏まえながら、上手く活動ができていたと感じております。

MOSH 宮城 U18 フットサルカップ (日程)

		1	2	3	4	5	6
1	聖和学園高等学校 フットサル部 A		○	○	○	○	○
			5 - 2	8 - 1	6 - 0	16 - 1	4 - 0
2	聖和学園高等学校 フットサル部 B	●		○	○	○	○
		2 - 5		6 - 2	3 - 2	5 - 0	3 - 1
3	ミカロ仙台 U15	●	●		●	△	○
		1 - 8	2 - 6		2 - 7	2 - 2	3 - 1
4	AOBA FC	●	●	○		●	○
		0 - 6	2 - 3	7 - 2		0 - 5	2 - 1
5	MESSE 宮城 U15	●	●	△	○		○
		1 - 16	0 - 5	2 - 2	5 - 0		8 - 2
6	MFS U15	●	●	●	●	●	
		0 - 4	1 - 3	1 - 3	1 - 2	2 - 8	

東北

● 本年度のリーグの状況

2020 南東北フットサルリーグ (2020OCSNEFL) は、延べ4日の開催予定でしたがコロナ禍の為、出場予定チームの県を跨いだ参加の自粛と、学校側からの参加自粛により交流大会として順位を決定せずに行われました。U-18 フットサルチャンピオンズリーグには、交流大会参加のフットサル登録チームからの選抜チームでの参加となりました。2021 年度は3月より開催予定です。

● 本年度のチームの状況

・INNOVATION.FC

コロナ禍で活動自粛、大会の中止等もありましたがチームスポンサー、地域支援者に支えられた1年となりました。

埼玉県

● 本年度のリーグの状況

・第2回埼玉県フットサルリーグ

埼玉県 U18 フットサルリーグは6チームの参加で行われ1回戦総当たりの後、プレーオフトーナメント実施という形で開催しました。総当たりリーグ戦では、正智深谷高校サッカー部さんが全勝で首位となり2位は昨年の準優勝チームの FFC エストレーラ川口、3位は叡明高校フットサル部。プレーオフトーナメントは1回戦が終了し、順位決定戦を1月17日に開催予定でしたが緊急事態宣言を受けて延期となり、2月14日に開催の予定となっております。

まだ2年目という若いリーグですが、サッカー部、フットサル部、フットサルクラブチームと様々なチームが集まり、切磋琢磨しています。

● 本年度のチームの状況

・正智深谷高校

コロナ禍の中、公式戦を奪われた3年生に対して少しでも活躍の場を提供しようという意図で選手は3年生中心で組みました。チャンピオンズカップに関しては全員3年生でメンバーを編成しました。

2020 年 第2回埼玉県 U18 フットサルリーグ

	埼玉平成高校 サッカー部	FFC エストレーラ 川口	叡明高校 フットサル部	正智深谷高校 サッカー部	イフ レバンテ	山村国際高校 フットサル部
埼玉平成高校サッカー部		2 ● 5	5 ● 7	1 ● 15	10 ○ 5	11 ○ 3
FFC エストレーラ川口	5 ○ 2		5 △ 5	3 ● 6	19 ○ 4	12 ○ 1
叡明高校フットサル部	7 ○ 5	5 △ 5		2 ● 6	13 ○ 0	15 ○ 4
正智深谷高校サッカー部	15 ○ 1	6 ○ 3	6 ○ 2		21 ○ 7	0 ● 3
イフ レバンテ	5 ● 10	4 ● 19	0 ● 13	7 ● 21		4 ● 7
山村国際高校フットサル部	3 ● 11	1 ● 12	4 ● 15	3 ○ 0	7 ○ 4	

リーグ紹介

東京都

● 本年度のリーグの状況

東京都ユース (U-18) フットサルリーグ 2020
主催 公益財団法人東京都サッカー協会
主管 東京都フットサルリーグ運営委員会
期間 2020年9月～2021年3月
試合形式
1部リーグ 9チーム総当たり1回戦のリーグ戦 40分（前後半各20分）ランニングタイム
2部リーグ A・Bグループ（各6チーム）総当たり1回戦のリーグ戦を実施後、順位リーグ戦 40分（前後半各20分）ランニングタイム
上位リーグ＝各グループ1・2位 中位リーグ＝各グループ3・4位 下位リーグ＝各グループ5・6位 各リーグの全試合終了を持って成立とする。
（2部リーグは順位リーグ事に成立を認める。）
昇格について 2部1位は自動昇格 2部2位は1部7位と入れ替え戦降格について 下記のチームは次年度、2部へ降格 1部リーグ：9位・8位 7位チームは入れ替え戦に於いて敗退した場合降格
※1部が成立し、2部が不成立乗り場合は9位のみ自動降格
※入れ替え戦は必ず勝敗を決定する。（引き分けの場合は即PK戦）

● 本年度のチームの状況

・ZOTT WASEDA JUVENIL
4・5月の活動自粛期間は、定期的にクラブアドバイザーによるオンラインMTGを実施しました。映像を見ながら意見を出し合うことで、プレーイメージを共有する有意義な期間にもなりました。6月より活動を再開。体調管理報告フォームを使った健康管理、クラブオリジナルマスクや個人持ちビブスの導入など、感染対策を整えながら活動を継続しています。対試合、リーグ戦は無観客開催が多く、親御さんに選手のプレーを直接見せることができなかったため試合映像のクラブ内配信に努めました。選手は、全日本選手権の中止やリーグ戦開幕の遅れの影響もあり、例年よりも高校3年生の早期引退が見られた。活動に制限がかかったことで、1回1回の活動にける熱量やコミュニケーション量が向上し、目標には届きませんでしたが、チャンピオンズカップでの成績に繋がったと感じております。

・ベスカドーラ町田 U-18
緊急事態宣言中はチームで集まる活動は中止し、個人で出来るトレーニングメニューをそれぞれが行いました。また、ZOOMを使ったトレーニングや、戦術理解の為に動画共有を行いました。緊急事態宣言明けからは感染予防対策を講じながら練習に励んでいます。今シーズンは公式戦が少ない中、一戦一戦を大切に挑んでいます。

神奈川県

● 本年度のリーグの状況

リーグはスタートが遅れながらも7月からスタート。現状は緊急事態宣言が出たため神奈川県の全てのリーグが停止。幸いユースリーグは1月開催は無かったため、2月以降になるが緊急事態宣言を踏まえ開催実施に不透明な部分がある。また開催時は消毒、検温報告、入館と退館時間の徹底、リモートマッチになるなど徹底しての開催となっています。

● 本年度のチームの状況

・湘南ベルマーレフットサルクラブ ロンドリーナ U-18
チームとして、独自のフォームで日々の検温報告を行なっております。また学校などでの感染状況も適宜報告を受けるようにしております。トレーニング時の消毒とトレーニングへの往復もまとまって帰らず人数を制限するなど徹底しており、感染したものはスタッフ含めておりません。

・鶴見大学附属高等学校
3年生2名、2年生13名、1年生17名、マネージャー1名で活動しております。今年度は、4月から5月までは休校であり、6月は分散登校でした。そのため、6月までは部としての活動ができませんでした。7月から徐々に活動することができるようになっていきましたが、最初は練習試合を組むことも禁止されておりました。夏休みから本格的に活動を始めましたが、サッカーとフットサル両方をプレーしていることもあり、最初はどちらもうまくいきませんでした。公式戦を重ねることで、自分たちの良い部分と悪い部分が整理できるようになり、少しずつ状態が良くなっていきました。高校2年生が中心となり、フットボールという競技に主体的に取り組んでいくよう努力しております。

● 第13回東京都ユース (U-18) フットサルリーグ [1部] 途中経過

		勝点	試合数	勝利	引分	敗戦	得点	失点	得失差
1	ASV PESCADOLA 町田 U-18	15	6	5	0	1	35	6	+29
2	FOOTBOZE FUTSAL U-18	15	6	5	0	1	23	5	+18
3	ZOTT WASEDA JUVENIL	15	7	5	0	2	30	12	+18
4	フウガドールすみだファルコンズ	13	6	4	1	1	41	15	+26
5	府中アスレティックFC ユースA	9	6	3	0	3	18	17	+1
6	リガーレ東京 U18	9	6	2	3	1	15	14	+1
7	錦城高等学校	7	8	2	1	5	15	41	-26
8	東京都市大学付属高等学校フットサル部	4	7	1	1	5	12	31	-19
9	Futsal Club BUBBLE U-18	0	8	0	0	8	11	59	-48

● 第13回東京都ユース (U-18) フットサルリーグ [2部] 途中経過

	グループA	勝点	試合数	勝利	引分	敗戦	得点	失点	得失差
1	ASV PESCADOLA 町田 U-18B	15	5	5	0	0	35	9	+26
2	東海道品川宿 FC U18	9	5	3	0	2	28	12	+16
3	成立学園高等学校	9	5	3	0	2	24	16	+8
4	府中アスレティックFC ユースB	6	5	2	0	3	22	20	+2
5	クラーク記念国際高等学校	6	5	2	0	3	17	17	0
6	東京都市大学付属高等学校フットサル部B	0	5	0	0	5	3	55	-52

	グループB	勝点	試合数	勝利	引分	敗戦	得点	失点	得失差
1	中野 FC Soleil U18	13	5	4	1	0	35	13	+22
2	フウガドールすみだファルコンズB	9	5	3	0	2	28	15	+13
3	東京成徳大学高等学校フットサル部	9	5	3	0	2	28	22	+6
4	東京ヴェルディフットサルチーム U-18	9	5	3	0	2	20	17	+3
5	駿台学園 FC	4	5	1	1	3	20	18	+2
6	郁文館高等学校フットサル部	0	5	0	0	5	6	52	-46

静岡県

● 本年度のチームの状況

・CRAQUES

今年度はU18選手権の開催も中止となり、選手のモチベーションを保つことが難しい中、選手達は開催された静岡県リーグを一試合ずつ我慢強く戦い、制することが出来ました。チーム一丸で戦うことができる良いチームです。

・東海大学付属静岡翔洋高校フットサル部

本年度はチームの目標「U-18 全日本選手権、全国制覇」を掲げスタートしました。しかしコロナの影響で中止となり、例年より活動範囲が少ない一年となりました。目標を「県リーグ制覇」に新たに活動してきました。また本年度は3年生の人数が少ない中、1、2年生がよく取り組んでくれました。

第15回静岡県U-18フットサルリーグ

1 部リーグ		1	2	3	4	5	6	7
		CRAQUES	東海大翔洋高校フットサル部	アグレミーナ U18	SENA.FC	浜松日体高校フットサル部 A	PROVA FUTSAL CLUB	FONTE/XEBRA ユース
1	CRAQUES		3 ○ 1	1 △ 1	6 ○ 1	7 ○ 2	9 ○ 0	10 ○ 0
2	東海大翔洋高校フットサル部	1 ● 3		6 ○ 3	6 ○ 2	5 ○ 1	6 ○ 0	7 ○ 0
3	アグレミーナ U18	1 △ 1	3 ● 6		3 ○ 2	2 ○ 0	10 ○ 1	5 ○ 1
4	SENA.FC	1 ● 6	2 ● 6	2 ● 3		3 ● 4	3 ○ 2	3 ○ 1
5	浜松日体高校フットサル部 A	2 ● 7	1 ● 5	0 ● 2	4 ○ 3		5 ○ 3	4 ○ 0
6	PROVA FUTSAL CLUB	0 ● 9	0 ● 6	1 ● 10	2 ● 3	3 ● 5		2 ● 5
7	FONTE/XEBRA ユース	0 ● 10	0 ● 7	1 ● 5	1 ● 3	0 ● 4	5 ○ 2	

2 部リーグ		1	2	3	4	5	6	7
		東海大翔洋高校フットサル部 2nd	Agradeco	MARIO FUTSAL SCHOOL	磐田東高校フットサル部 A	浜松日体高校フットサル部 B	磐田東高校フットサル部 B	Hero FC U18F
1	東海大翔洋高校フットサル部 2nd		2 ● 10	0 ● 4	3 △ 3	7 ○ 3	3 ○ 2	3 ● 5
2	Agradeco	10 ○ 2		5 ● 6	7 ○ 2	12 ○ 2	4 ○ 2	2 ○ 0
3	MARIO FUTSAL SCHOOL	4 ○ 0	6 ○ 5		7 ○ 0	16 ○ 1	5 ○ 1	2 ● 3
4	磐田東高校フットサル部 A	3 △ 3	2 ● 7	0 ● 7		3 △ 3	2 ● 4	0 ● 7
5	浜松日体高校フットサル部 B	3 ● 7	2 ● 12	1 ● 16	3 △ 3		3 ● 5	0 ● 6
6	磐田東高校フットサル部 B	2 ● 3	2 ● 4	1 ● 5	4 ○ 2	5 ○ 3		5 ● 6
7	Hero FC U18F	5 ○ 3	0 ● 2	3 ○ 2	7 ○ 0	6 ○ 0	6 ○ 5	

愛知県

● 本年度のリーグの状況

U-18 フットサルリーグは開催できず、選手、チームは社会人リーグなどで活動。

長野県

● 本年度のリーグの状況

コロナの影響で開催が例年より2ヶ月遅れました。また例年なら総当たり2回戦で行なっていましたが6チームの総当たり1回戦のレギュレーションで行いました。

2020 年 第7回長野県U-18フットサルリーグ

チーム名	上田西高校	ポアルース長野U-18	美須ヶヶ丘高校	文化学園長野高校	日本ウェルネス長野高校	松本深志高校
上田西高校		3 - 9 ●	14 - 5 ○	8 - 2 ○	3 - 6 ●	5 - 2 ○
ポアルース長野U-18	9 - 3 ○		18 - 2 ○	18 - 1 ○	3 - 3 △	35 - 3 ○
美須ヶヶ丘高校	5 - 14 ●	2 - 18 ●		2 - 8 ●	4 - 44 ●	3 - 9 ●
文化学園長野高校	2 - 8 ●	1 - 18 ●	8 - 2 ○		4 - 23 ●	7 - 5 ○
日本ウェルネス長野高校	6 - 3 ○	3 - 3 △	44 - 4 ○	23 - 4 ○		22 - 0 ○
松本深志高校	2 - 5 ●	3 - 35 ●	9 - 3 ○	5 - 7 ●	0 - 22 ●	

リーグ紹介

富山県

● 本年度のリーグの状況

富山県は積雪の影響で冬季にサッカーの試合や練習に制限がかかってしまいます。そこで、サッカーに必要な要素が多く詰まったフットサルを、リーグ戦という定期的な機会のもとでプレーすることによって、技術向上やチーム強化、フットサルの普及につなげようと考えています。

当初（2014年度）、利用できる公共の体育館のある富山県西部地域の高校やクラブチーム、計5チームによりスタートしました。7年目となる2020年度は県東部、県西部の2リーグに分かれ、計11チームで開催しました。今年度は福井県からも2チーム参加していただき、県の枠を越えた開催にチャレンジし、リーグ戦の活性化を図りました。各リーグの終了時に、上位・下位に分かれトーナメント戦を行い、最終順位を決定しました。

このリーグの特徴は、運営・審判に参加する高校生が、できるだけ「自分たちで行うこと」を前提にしている事です。会場の準備・片付けはもちろんのこと、試合の審判も高校生が行います。事前にフットサル4級審判員資格取得講習会を受講し、その後に講義形式だけでは得られない実際のレフェリング経験を積むことによって、より実践的な審判員の育成につなげています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防策として、社会人リーグのノウハウを活用し、高校生もwithコロナの行動を理解して取り組んでくれたリーグ戦となりました。

	不二越工業	富山中部	中央農業	富山いずみ	片山学園
不二越工業		4 ○ 2 —	13 ○ 0 —	16 ○ 0 —	8 ○ 6 —
富山中部	2 ● 4 —		27 ○ 0 —	8 ○ 1 —	6 ○ 2 —
中央農業	0 ● 13 —	0 ● 27 —		6 ○ 1 —	2 ● 4 —
富山いずみ	0 ● 16 —	1 ● 8 —	1 ● 6 —		0 ● 14 —
片山学園	6 ● 8 —	2 ● 6 —	4 ○ 2 —	14 ○ 0 —	

京都府

● 本年度のリーグの状況

今年は1回戦総当たりで行っています。最終戦が始まる直前にコロナの影響で試合ができなくなり、1試合残っておりますが、現在消化のめども立っておりませんので、3位から5位の順位が決定できていない状況です。

● 本年度のチームの状況

・立命館宇治高校フットサル同好会

今シーズンは新型コロナウイルスの影響により全日本ユースが中止になり、またチームの始動も例年より遅くなりました。そのような状況下で、自粛期間はWEBでのミーティング、再開後は目標に向かう主体性を持って取り組んできました。今年のチームは3年生の選手が4人と、例年よりも少ない代でしたが、日々のトレーニングと学校生活を真摯に励み、夏のグリーンアリーナ神戸カップ（関西圏のみ）の優勝、京都府リーグ2連覇に到達しました。今回、このコロナ禍での大会を開催いただき、非常にありがたく思っております。今年度得た刺激を新チームに活かしていきたいと思っております。

大阪府

● 本年度のリーグの状況

大阪府フットサルU18リーグは4チームで行われており2巡形式で行う1チーム6試合のリーグ戦になっています。2020年度はコロナウィルスの影響もあり当初予定していた日程の延期も余儀なくされました。全チームの協力も1月24日にて全日程が終了予定になっています。今年度はリーグ最終戦まで優勝チームが決定しないリーグになっており2種年代から接戦を経験していく事で選手たちも成長できると思いますしそれが大阪府のレベルアップにも繋がっていくと思っています。リーグ参加チームが4チームと少し寂しいので試合数の確保をすべく新規参入チームをお待ちしております。

● 本年度のチームの状況

・シュライカー大阪U18

本年度のチーム状況は、コロナウィルスの影響が大きくトレーニング等の活動を自粛しなければならない事がトータルすると1ヶ月以上ありました。去年のU18全日本フットサル選手権で準優勝した主力の現高校3年生の選手達も何名か在籍していますが、高校2年生よりも1年生が多いチームなので初めの頃は練習の強度は低かったと思います。この大会を通じて1年生と2年生は悔しかったこの経験を来年度に活かして貰いたいです。

● 大会概要

大会名	富山県U-18フットサルリーグ2020
主催	富山県U-18フットサルリーグ実行委員会（参加チームで構成）
後援	NPO富山県フットサル連盟
協賛	株式会社モルテン
期間	2020年12月5日～12月20日 (2020年度は新型コロナウイルスの影響でサッカーの日程が大幅にずれ込んだため)
会場	南砺市井波社会体育館 富山中部高校 片山学園高校
参加費	15,000円（会場費、ラインテープ代、ボール代など）※変動有り
競技規則	20-21フットサル競技規則（新ルール）採用
試合時間	30分（各ピリオド15分）ブレイキング
審判	参加チームから高校生が行う 各チームから2名以上F4級新規取得講習会を受講してもらい、実際にリーグ戦で指導する

● 本年度のチームの状況

・MDフットサルクラブ

北陸高等学校のサッカー部3年生仲間になります。大会の参加が決まり限られた時間や場所などを選手たちで調整しながら練習しております。高校サッカー選手権では悔しい思いをしましたが、フットサルを通じて高い技術を発揮できるチームです。

・不二越工業高校

緊急事態宣言中は全部活動中止だったため、全体練習はせずに各自でランニングアプリをインストールさせ各自でランニングを行い後日確認しました。学校再開後は密を避けるためにチームを3つに分け時間別にトレーニングしました。

● 優勝決定戦

不二越工業高校 1-8 MD FUTSAL

2020 京都 U-18 フットサルリーグ

	立命館宇治	京産大附	Gatt2008	久御山	京都橘	木津
立命館宇治		13 ○ 1	4 ○ 3	4 ○ 1	7 ○ 2	5 ○ 4
京産大附	1 × 13		1 × 12	3 × 14	2 × 13	3 × 5
Gatt2008	3 × 4	12 ○ 1		1 × 5	0 × 5	12 ○ 1
久御山	1 × 4	14 ○ 3	5 ○ 1		5 ○ 4	9 ○ 1
京都橘	2 × 7	13 ○ 2	5 ○ 0	4 × 5		
木津	4 × 5	5 ○ 3	1 × 12	1 × 9		

大阪府フットサルリーグ 2020 U-18

	シュ	メッ	フロ	東大
シュライカー大阪U-18		3 △ 3 3 ○ 2	9 ○ 1 4 ● 5	9 ○ 0 26 ○ 0
メッセ天下茶屋FC U-18	3 △ 3 2 ● 3		4 ● 7 3 ○ 2	7 ○ 2 6 ○ 2
フローライトマキナU-18	1 ● 9 5 ○ 4	7 ○ 4 2 ● 3		29 ○ 2 16 ○ 1
東大阪大学敬愛高等学校	0 ● 9 0 ● 26	2 ● 7 2 ● 6	2 ● 29 1 ● 16	

兵庫県

● 本年度のリーグの状況

5チームで開催予定でしたが、1チームが学校の行事変更によって、土曜日にも授業が入る事となり、参加辞退となりました。最終的に4チームの総当りリーグを9～11月に行いました。

● 本年度のチームの状況

・神戸国際大学附属高校フットサル部

4～5月はもちろん活動はストップしていましたが、6月から登校が始まり、部活も徐々に活動を始めました。7月以降はほぼ通常通りの活動となりましたが、秋以降の感染再拡大の際は、県からの要請「平日4日・土日はどちらか1日 2時間以内」の制限の中での活動となりました。

	神戸国際	クラーク	宝塚	デウソン
神戸国際大学附属高校		○ 8－4	○ 9－1	○ 6－3
クラーク記念国際高校	● 4－8		● 0－1	○ 5－1
宝塚フットサルクラブ	● 1－9	○ 1－0		△ 3－3
デウソン神戸 U-18	● 1－5	● 3－6	△ 3－3	

和歌山

● 本年度のリーグの状況

2020年度より開幕予定だったのですが、告知含め開催までにコロナ禍により参加チーム・運営共に開催困難な状況となりました。よって2020年度は開催断念し、2021年度より仕切り直して開催していく方向です。今回のチャンピオンズカップには、U-18全日本フットサル選手権和歌山県大会5連覇中のアズーロが、実力・組織的にも安定していたため推薦にて出場致しました。

● 本年度のチームの状況

・アズーロ和歌山フットサルクラブ

元々この時期は高校3年生が受験等でほぼ不在、今年度に至ってはコロナ禍により春から(U-18全日本フットサル選手権中止が決定した時)からチームを離れる選手が増えてしまった、また新加入が見込める時期に緊急事態宣言が出るなどして、新加入選手は獲得出来ませんでした。当クラブ所属中学生より上がった選手は数名いましたが、全体的に在籍選手が少ない状況となりました。平日2回の練習日もまばらな参加、背景には自粛期間を経て、学校行事と勉強の詰め込みがあり、活動に参加する余裕がなかったためです。少しでもフットサルで上を目指して貰える様に、選手達に夢と希望をもてる様な取り組みを引き続きしていきたいと思います。

熊本県

● 本年度のリーグの状況

活動できるタイミングで開催中。例年総当たり2回戦にしていたものを今年は総当たり1回戦に。屋外の人工芝ピッチで、保護者さんの観戦制限をかけつつ開催。

● 本年度のチームの状況

各チームの活動は、教育委員会などの指示がない限りは活動しているようです。今のところ感染が起きたチームはなく、無事に活動できています。

KFA 第10回熊本県高校生フットサルリーグ 2020

1周目	クワトロ	トレイス	第一A	第一B	国府	なかよし	球磨
エンフクワトロ		× 2－4	○ 5－4	× 2－3	○ 2－1		
エンフトレイス	○ 4－2		○ 6－3	× 1－4	○ 4－3		
第一高校A	× 4－5	× 3－6		× 4－6			
第一高校B	○ 3－2	○ 4－1	○ 6－4				
国府フットサル	× 1－2	× 3－4					
なかよし会							
球磨高校							

編集後記

「たいへん難しい判断でした」とこの報告書の挨拶がはじまっているとおり、コロナ禍のなかでやってもいいのか、できるのか、さらには、なぜこの大会を開催するのかといった事業の本質にまで立ち返って議論と自問を重ねました。そして大会当日、かけがえのない舞台でプレーする選手たちをみて、やってよかったのだろう、とようやく実感することができました。会場では多くの人からお礼の言葉をいただきました。立場上、私たちがその言葉を受けることにな

りましたが、改めて、大会にかかわったすべての皆さんに、お礼をお伝えしたいと思います。本当に、ありがとうございました。さいごに、大会の1週間後には、全チームから「選手、関係者に発症なし」の報告があったことを記して大会報告とします。

